



東京医科大学八王子医療センターの歩み

Since 1980



昭和53年(1978)8月19日
「八王子医療センター建設及び管理運営に
関する基本協定」締結

東京医科大学は新宿の地で大正5年（1916）に創立。西新宿の大学病院、茨城県阿見町の霞ヶ浦病院について、三つ目の附属病院として、八王子市に「八王子医療センター」を開設。本学にとって卒前卒後教育の場であるブランチ病院の建設というだけでなく、“八王子市に高度な医療施設を”という市の要請に応えるべく循環器系を中心とした220床の病院として発足した。



昭和55年(1980)4月11日
八王子医療センター
竣工披露祝賀会



八王子医療センター開設 (昭和55年4月)



平成3年(1991)3月19日
創立10周年記念・増改築工事竣工式典

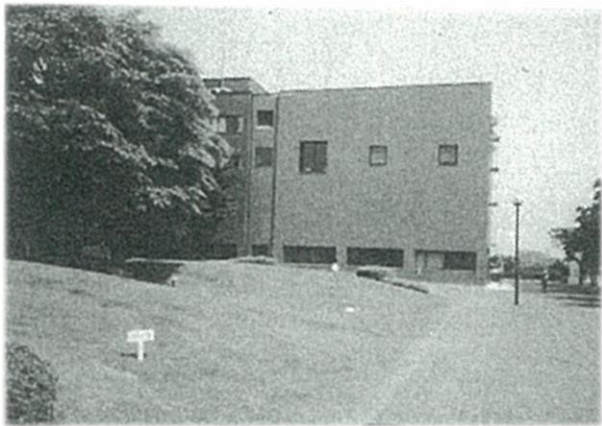
患者数の増加により増床と総合病院化が求められ、昭和63年(1988)12月、増改築工事に着工、平成3年(1991)3月には21診療科、508床を有する総合病院として、生まれ変わった。



B館(外来・病棟)新築

C館(中央診療部門)増築

教育研究棟新築



平成6年(1994)に竣工した手術棟

平成7年(1995)
開院15周年記念式典

東京医科大学 八王子医療センター 開院15周年記念式典

平成3年(1991)には職員食堂が入った厚生棟が竣工、平成6年(1994)には手術棟の増改築工事が完成し、開院15周年を迎える平成7年には、病床数523床まで増床。

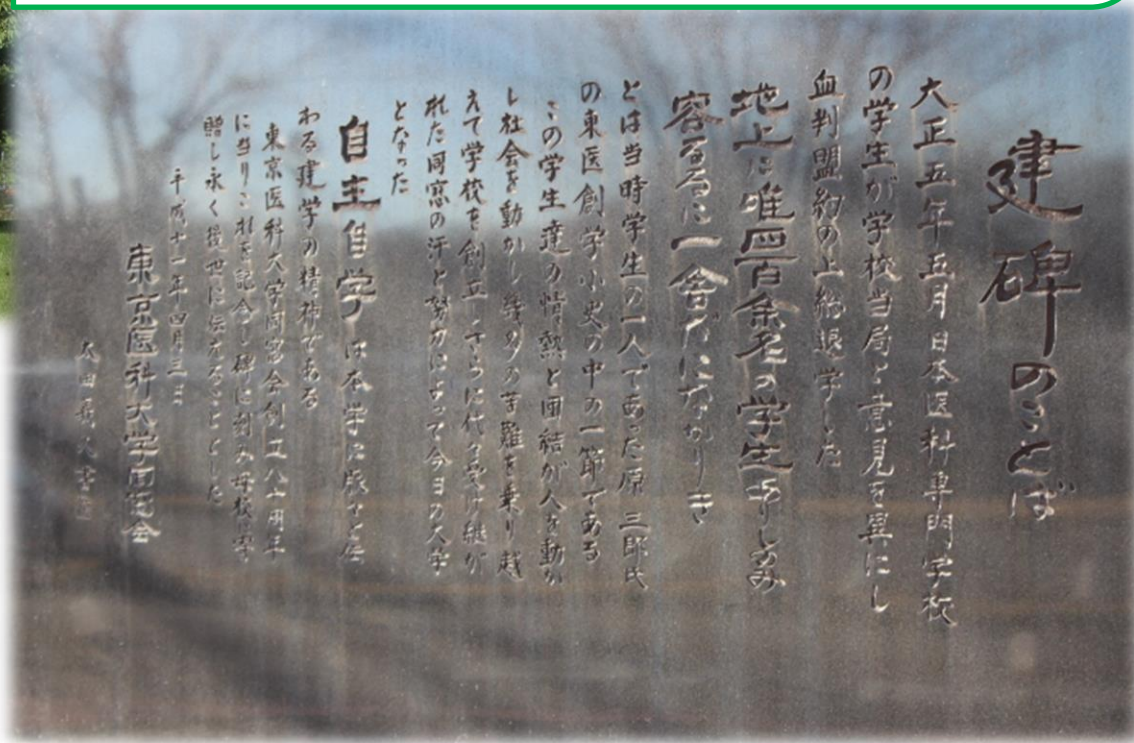
また同年「外科学第5講座」として八王子医療センターに初の講座が設置され、「臓器移植外科・一般外科」を標榜。法医学研究室も設置し、地域医療だけでなく教育・研究施設としての充実も図られた。



開院15周年・手術棟竣工・初の講座設置(平成7年)



平成11年(1999)東京医科大学同窓会創立80周年記念として同窓会より本学の建学の精神を記した「自主自学記念碑」が寄贈され、八王子医療センターの玄関前広場に設置された。裏面に「建碑のことば」が刻まれている。



(写真は平成27年12月現在)

自主自学記念碑寄贈 (平成11年)



平成14年(2002)3月に竣工した新病棟 (D館)



平成14年(2002)4月5日
開院20周年記念並びに
新病棟竣工式典・祝賀会

新病棟 (D館) 屋上には、大型ヘリコプターの離発着も可能なヘリポートが完成。東京都指定の三次救急医療施設としての機能が向上した。

その後平成17年(2005)には西新宿の大学病院とともに「東京DMAT指定病院」に認定されるなど、「地域災害拠点中核病院」としての活躍が期待されている。

*DMAT:大規模災害などに派遣される災害派遣医療チーム



「くすの木」を記念植樹

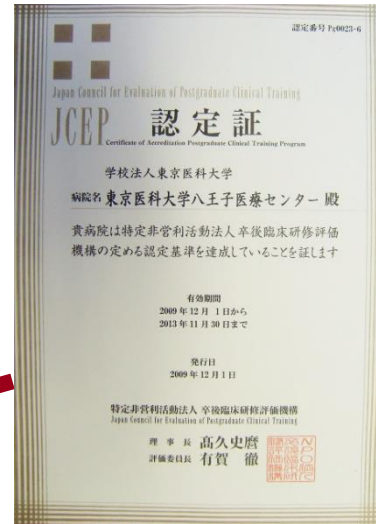
開院20周年・新病棟 (D館) 竣工 (平成14年4月)

平成25年(2013)



最新の更新認定

平成21年(2009)



更新認定



全国で第一号の認定

医科大学は診療や研究だけでなく、医師の育成という社会的責務を担っている。医師にとって、医学部卒業後の研修医期間の鍛錬が必要不可欠である。平成19年(2007)12月1日、八王子医療センターは全国で第一号となる卒後臨床研修評価機構の認定病院の指定を受けた。

その後、平成21年(2009)、平成25年(2013)に更新の評価結果を得、現在も魅力ある臨床施設として研修医が多く集まる活気ある病院となるよう卒後臨床研修プログラムの発展に努めている。



院内保育所



多目的ホール



研修医宿舎

職員用院内保育所と研修医宿泊施設を兼ね備えた「緑風館」が完成、教職員の勤務・教育環境を充実させることで、より良い医療を提供できるよう積極的に取り組んでいる。

院内保育所・研修医宿舎「緑風館」竣工(平成27年2月)